



## 育ちの芽

園 長 安 達 巡

お子さんの入園・進級、おめでとうございます！

新年度に入り、この年度当初に、今の日本の教育の課題と、それを受けての本園の取り組みを、保護者の皆さんとも共有しておきたく、本通信をお届けします。

まず昨年 4 月に、幼稚園教育要領改訂が施行されたと同時に、小中学校の学習指導要領も改訂され、小中学校でも、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善していくことになりました。今回の改訂内容の大きな理由は、以下のとおりです。

### 日本の教育の課題

- ・日本の子ども達は、論拠を示しながら自分の考えを述べるのが苦手。
- ・学ぶことの楽しさや意義を実感しにくく、自分が社会の一員として社会を作っていこうという意識が低い。

### 原因

- ・これまでの学校教育は、知識・技能の中身や量が重要視されてきた。
  - ・グローバル化、IT 化が進み、AI（人工知能）が目覚ましく進化する現代社会では、詰め込まれただけの、知識・技能が、すぐに時代遅れになってしまうという現実。
- 知識・技能を知っているだけでは、仕事や生活に役立てることも難しくなる。

これを受けて本園でも、今回の改定のいちばんのポイントとなっている、園児一人ひとりの経験や活動（学び方）を注視しながら、『主体的、対話的で深い学び』となるように、保育を進めてきました。具体的な取り組みとしましては・・・

### 【話し合うこと】

- 一昨年まで行っていた朝礼では、担当の先生が、季節や時期に応じて、健康・安全・自然・季節の行事等の話題に触れていましたが、3～5歳という年齢差・発達差の大きい幼児期では、全員に上手く伝わらなかったこともあり、昨年からは各クラスで、年齢・興味・関心に応じた言葉で伝えることにしました。
- 行事の『園児あいさつ』では、今までは先生達が決めたセリフを覚えさせ言わせるという指導方法でしたが、それよりもっと大切なことは、『それぞれの行事の意味』を丁寧に伝えること。そのうえで、子ども達の心から出てきた言葉を、大切に与えることにしました。
- 大切にしてきた話し合いの内容は、『日々の生活の振り返り』でした。「今日どんなことをして（遊びや経験）、どんな風を感じたか？どんな気持ちになったか？」等を子ども自身が

言語化していくことで、その日の体験をさらに深く自分の中に落とし込み、それが次に『やりたいこと』への見通しとなって、『自ら行動する力』につながっていくからです。

#### 【プロジェクト型保育への発展】

今回の教育要領改訂施行の際にも、今まで幼児期の基礎とされていた、5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の枠組みは変わっていません。そのため本園の教育課程・カリキュラムの基本（各年齢や季節に応じたねらい）についても、各年齢ごとでも大きな変更はありません。

ただし前述した『話し合い』を重ねたり、日々の活動を振り返ることによって、子ども達の方から、「もっと、こんなことがしたい」「こんな物も使いたい」等々・・・クラスのみならず、またはグループによる『協同的な学び』、いわゆる「プロジェクト型保育」活動に発展していきました。もちろんその内容は、「みんな違う子ども達」「みんな違う子ども達が集まった集団」のため、各クラスで発展していった活動内容は、どれひとつ同じものではなく、本当に様々な活動でした。

（何かを作るためにお買い物に出かけていたクラス、遊びを発展させるために教具・遊具・材料をそろえていたクラス等）

そのため本園では、各年齢ごとに購入していた教具・玩具は今までと同じですが、それ以外にも各クラスの「プロジェクト型保育」のために、自由に使える「クラス費」も設定しました。

#### 【ドキュメンテーションの作成】

新教育要領の中にも、日々の活動の様子を記録（画像・会話内容）を蓄積し、子どもの育ちを保護者と共有するための媒介にすることと記されています。このことから昨年度より、各クラスに iPod を設置し活動の様子を画像におさめ、ドキュメンテーションを作成し、保護者の皆さんにも幼稚園への送り迎えの際などに、自由に見ていただけるようにしました。また学期末の懇談会でも、子どもの育ち・成長が可視化できるよう、画像も用いてお伝えするようにしました。

また、このドキュメンテーション作成は、私ども教職員にとっても、日々の保育の振り返りや、先の見通しを立て環境設定を考えていくこと等に、とても役立っていることを実感しています。

このように昨年1年、取り組んできた活動も含めて、昨年度末には保護者の皆さんにも、アンケートのご協力をお願いしました。その結果につきましては、6月に開催予定をしている『学校評価委員会』終了後に、お知らせいたします。

なお『情報や説明が不十分』というご意見については、この新学期より改善していくために、

※ 『学年だより』を『クラスだより』に変更し、連絡アプリで配信していく。

※ 本通信『育ちの芽』で、保育の取り組みや内容を、きめ細かく報告していき、HP にも掲載する。

以上のように計画しておりますので、ご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。